事業評価票

105	航空管理情報利用料及び気象情報利用料 （東京消防庁装備部／一般会計）	事業開始	平成 6 年度
		事業終了予定	平成 ー 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何を目指すのか

○　回転翼航空機の飛行には航空局に対し「飛行計画の通報及び承認」が航空法で定められており、飛行計画の作成には「航空機の運航に必要な航空情報及び各種運航施設の停止通報」などの「運航管理情報」や「気象情報」が必要不可欠である。

○　当庁では、「気象情報」の利用を平成６年度から、「運航管理情報」の利用を15年度から電子情報により収集し、「飛行計画の通報及び承認」の手続きを行っている。

根拠法令等	航空法

2 どのように取り組み、どのような成果があったか

○　電子情報により、リアルタイムに充実した情報を収集できるようになった。

○　「運航計画の通報及び承認」を電子化することにより、回転翼航空機の出場の準備を迅速に行えるようになった。

3 どのような課題や問題点があったか

○　「運航管理情報」と「気象情報」を別々の会社と契約していたため、それぞれ別々の契約端末で情報取得等を行い、情報の移動には記憶媒体等が必要であることから、飛行計画の作成手順等が煩雑となっている。

○　「運航管理情報」の利用は契約相手方の都合により、ユーザーの希望する地域を限定した運航情報の取得ができないため、迅速な運航の可否判断が困難な状況もあった。

4 局として、事業をどうしていきたいか

拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他

○　必要な情報量等を見直し、「運航管理情報」の利用と「気象情報」の利用を一本化する。また、航空局に対する運航計画の通報及び承認をよりスムーズに行うことで、更なる出場の迅速化やコスト縮減を図る。

歳入			歳出		
	21年度決算額	ー 千円		21年度決算額	3,665 千円
	22年度予算額	ー 千円		22年度予算額	3,682 千円
	23年度見積額	ー 千円		23年度見積額	3,279 千円

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか

○　情報収集の一本化により航空隊の更なる出場の迅速化やコスト縮減も見込まれることから、効果的な見直しであると考える。

6 23年度予算で、どのように対応したか

拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他

○　局案どおり予算を計上する。

歳入	23年度予算額	ー 千円
歳出	23年度予算額	3,279 千円